

## FIT 特別セミナー グローバル時代の人づくりとJapan Fashion

この度、FIT(ニューヨーク州立ファッション工科大学)および日本におけるFIT同窓生の会である日本FIT会(JFAA)は、震災後1年目の節目となる2012年3月のJapan Fashion Weekのタイミングを期し、日本のファッション産業の飛躍のために我々にできることは何かと考え、JFW他のご協力を得て、当セミナーの開催を企画いたしました。

セミナーのねらいは、日本の業界や企業の方々に対しては、「世界に向けた事業展開やグローバル人材育成の重要性」を、また日本の若者や学生の方々には「グローバルなファッション・キャリアに対する関心」を喚起するためであり、そのためのヒントを得ていただく機会になれば幸いです。

**日時** 2012年3月21日水曜日 10:00am~12:40pm (9:30開場)

**会場** 東京ミッドタウンタワー4F「ホール&カンファレンス」Room 7  
東京都港区赤坂9-7-2 電話:03-3475-3703 <http://www.tokyo-midtown.com>

### プログラム

同時通訳対応

#### 基調講演 1

### 日本企業および日本の プロフェッショナルは どうあるべきか

加速するグローバル競争の時代、日本企業が勝ち残るために最も必要なものは何か?

「服を変え、常識を変え、世界を変える」を経営理念に世界No.1を目指すファーストリテイリング。「志をもって生きる」を今年の方針に掲げた柳井氏のメッセージは。



(株)ファーストリテイリング代表取締役会長兼社長  
柳井 正氏

#### 基調講演 2

### 次代を担う人材を どうするか — FITの革新的取り組みは

激変する経済環境、グローバル化とIT革新などで一層高度化するファッション・ビジネス。

また、ファッションによる価値創造の対象も衣服にとどまらず多様な分野に拡大する中で、新しい時代をリードするプロフェッショナル人材の開発に取組むFITの未来戦略を聞く。



ニューヨーク州立大学 FIT 学長  
ジョイス・F・ブラウン氏

#### ジャパン・ファッション

### 外国人が見る 日本ファッションの 誇るべき強み — そのマーケティング方法は

日本ファッションを世界はどう評価しているのか? 日本人の感性、歴史と文化が育むファッションの、日本人自身が気づいていない強み、そのチャンスとチャレンジ(課題)は...

昨年FIT美術館で好評を博したJapan Fashion Now展などのビジュアルも紹介。



Photo by Aaron Cobbett

FIT Museum ディレクター&チーフ・キュレーター  
ヴァレリー・スティール氏

主催: Fashion Institute of Technology (FIT) & 日本FIT会 (JFAA)

後援: 一般社団法人日本ファッション・ウィーク 推進機構

### 株式会社ファーストリテイリング 代表取締役会長兼社長 柳井 正氏

1949年、山口県生まれ。早稲田大学政治経済学部を卒業後、株式会社ジャスコ(現 イオン株式会社)勤務を経て、1972年に小郡商事株式会社(現 株式会社ファーストリテイリング)入社。

1984年、広島市にカジュアルウエアショップ「ユニクロ」をオープンし、以降ユニクロを日本全国へ積極的に出店、日本最大規模のカジュアルウエアチェーンへと発展させる。2005年11月、ファーストリテイリングを持株会社へと移行。ユニクロのほか、傘下にジーユー、リンク・セオリー・ジャパン、ネルソンフィナンスなどを持つ、アパレル製造小売企業グループを形成する。

ファーストリテイリングのステートメントである「服を変え、常識を変え、世界を変えていく」の実現を目指す。

Dr. Joyce F. Brown

ニューヨーク州立大学 FIT 学長 ジョイス・F・ブラウン氏

30年余にわたる高等教育における優れた実績を買われて、1998年、女性として初めてのFIT学長(第6代)に就任。世界に類の無いファッションの総合大学であるFITを、教授陣およびテクノロジー分野の強化、多様なカリキュラムの開発、学生へのサービス強化などにより、戦略的に大きく成長させたリーダーシップは高く評価されている。FIT 教育財団理事長を兼務。

NY市立大学Bernard Baruch College学長代行を含む要職を歴任、中等教育の強化などを含むニューヨーク市教育行政にもかかわり、ニューヨーク副市長も務めた。熱心な教育者、教育アドミニストレーターとして知られると同時に、チャイルド・ケアやドメスティック・バイオレンス、多様な社会活動にも手腕を発揮している。また南アメリカ共和国政府と協業し、ネルソン・マンデラに触発された黒人プロフェッショナル教育プログラム推進にも貢献。ニューヨーク大学(NYU)にてカウンセリング心理学修士及び博士号を取得。ハーバード大学の教育経営研究所課程終了。

Dr. Valerie Steele

FIT Museum ディレクター&チーフキュレーター ヴァレリー・スティール氏

ファッション分野で世界的評価を得ている著名キュレーター。FITファッション美術館のディレクターとして、過去10年にわたり20以上の展示を企画監修。2010年から2011年にかけて開催されたJapan Fashion Now展は、大好評を博し、3か月の会期延長をみた。日本のファッションにも造詣が深く、1980年代初めに世界を揺さぶった日本ファッションを、「ファッションの未来を示唆するもの」と評価。その後のサブカルチャー的ファッションにも注目している。Forbes誌、New York Times紙などのメディアも、“ファッション界の最も聡明な女性”、“ファッション・プロフェッサー”、“ハイヒールをはいた歴史家”などと評価し、米国ファッション業界における第一人者の1人に挙げられている。

編集長として「Encyclopedia of Clothing and Fashion (全3巻)」を編纂したほか、「Japan Fashion Now (Yale University Press, 2010)」を含む多数の著書があり、その一部は複数の言語に翻訳されている。エール大学にて博士号を取得。

## Fashion Institute of Technology (FIT)

ファッション業界のプロフェッショナル人材育成教育機関として1944年創立。その後ニューヨーク州立大学になる。

現在は、ファッションおよび関連分野における、デザイン、テクノロジー、ビジネスの多様なプロフェッショナルを養成する総合大学。コースとしては、2年制・1年制準学士(A.A.S.)コース、4年制学士(B.F.A./B.S.)コース、修士(M.A./Professional Studies/Fine Arts)コースがあり、アパレル、小売、テキスタイル、インテリア、コスメティックス、広告、美術、玩具などの専門分野をカバーする45以上のプログラムを提供している。マンハッタンを中心に立地、「マンハッタン全体がキャンパス」を合言葉に、ビジネスの現場に密着した「実学」の教育に力を入れている。全日制学生数1万人以上、夜間や短期集中講座を含む2万人以上が学ぶ。日本人をはじめ海外からの留学生も多い。

<http://www.fitnyc.edu/>